

## 開催趣旨

「建設技術展2017近畿」は、民間企業が開発した新技術・新工法を展示・紹介する場において、産・学・官の交流を行うことで、これまで培われてきた建設技術のより一層の高度化やより広範囲な技術開発の促進へとつなげ、新技術の各工事への積極的な活用を促すことを目的とするものです。

そのキーワードは

- ① 民間分野において、建設事業に関連した技術開発への取り組みの紹介
- ② 新しく開発された技術の育成と普及
- ③ 技術開発に向けた建設技術者の意識の高揚
- ④ 発注者のニーズを広報し、新技術の開発・普及につなげる

技術展の開催を通して、ハード・ソフト両面での社会基盤整備に関連した技術の役割や意義を発信していくとともに、発注者ならびにコンサルタント、ゼネコン、資材業者など幅広い方々へPRしていくことで、建設産業の一層の発展に寄与していきたいと考えています。

また、近年より各出展者から要望の多い新たな技術分野として「維持・更新」を設け、本格的なインフラの維持管理・大量更新を迎えた建設業界へ情報を発信、さらに、国土交通省のi-Constructionの推進を契機に「IT・ICT」分野ではICT技術を、「施工」分野では「規格の標準化」に関する技術を紹介しています。



近畿地方整備局長 池田 豊人 氏  
近畿建設協会 霜上 民生 理事長  
土木学会関西支部 村上 考司 支部長

# 開催イベント

## 関西ライフライン研究会 地震防災フォーラム

「南海トラフ巨大地震に備えて  
—長周期地震動に対する重要構造物の地震対策—」  
10/25 [水] 10:30-12:30



林 康裕 氏

林康裕氏(京都大学大学院教授)が基調講演を行った後、嶽田泰子氏(神戸大学大学院准教授)をコーディネーターに、梅敷寛氏(国土交通省近畿地方整備局総括防災調整官)、西岡勉氏(阪神高速道路㈱技術部技術推進室室長)、西崎丈能氏(大阪ガス㈱エンジニアリング部シニアエンジニア)、中村公彦氏(大阪市水道局工務部工務課担当係長)が南海トラフ地震への備えなどについて活発に意見を交わしました。



## 新名神高速道路シンポジウム

「新名神 その先にある高速道路新時代  
—ICT技術が進化させる高速道路—」  
10/25 [水] 13:00-14:30



村尾 光弘 氏

村尾光弘氏(西日本高速道路㈱常務執行役員関西支社長)の講演の後、西田純二氏(㈱社会システム総合研究所代表取締役)、松岡弘晃氏(富士運輸㈱代表取締役)、足立智之氏(西日本高速道路㈱主席専門員)が今後の高速道路に求められる情報提供・サービス提供のあり方などを議論しました。



## NPO法人 あすの夢土木シンポジウム

「建設が変わる 未来が変わる 土木とAI」  
10/25 [水] 15:15-17:00



小澤 英昭 氏

小澤英昭氏(NTTメディアインテリジェンス研究所所長)が基調講演を行った後、大西有三氏(関西大学客員教授・京都大学名誉教授)をコーディネーターに、堤英彰氏(国土交通省大臣官房技術調査課課長補佐)、天方匡純氏(八千代エンジニアリング㈱技術開発部専門部長)、羽田武司氏(㈱大林組大阪本店安威川ダムJV工事事務所長)がパネルディスカッションを行いました。



## 近畿地方整備局 新技術活用促進セミナー

「現場で使った新技術15選」  
10/26 [木] 10:00-12:00



大西 有三 氏

建設業に携わる人たちの技術力向上を目的として、施工業者が実際に活用した有用な新技術の現場での活用効果等について、ポスターセッションを行いました。技術選定=新技術活用促進セミナー技術選定委員会(委員長:大西有三 関西大学客員教授・京都大学名誉教授)。



## 建設コンサルタンツ協会近畿支部 関西のインフラ強化を進める会 関西未来づくりシンポジウム

10/26 [木] 13:00-15:20

第1部で、大津宏泰氏(京都大学大学院教授)のコーディネーターで建設コンサルタンツ協会近畿支部の道路研究委員会のメンバーが提言「立ち上がり関西の新しい道路網整備2050」の内容を紹介。第2部では、関西のインフラ強化を進める会によるパネルディスカッションを実施、小林潔司氏(京都大学経営管理大学院教授)がコーディネーターを務め、小嶋淳司氏(がんこフードサービス㈱会長)、斎藤峻彦氏(近畿大学名誉教授)、狭間恵三子氏(堺市副市長)、藤本貴也氏(JAPIC国土・未来プロジェクト研究会委員長)がゲートウェイ機能の強化、ネットワーク整備をテーマに議論しました。



## インフラメンテナンス国民会議 近畿本部フォーラム 第2回ピッチイベント

10/26 [木] 13:00-16:30 事務局: (一社)国土政策研究会関西支部

地方自治体が抱える施設管理の課題(テーマ)に対し、民間事業者などが保有する最新のシーズ技術を広く共有し、技術の発掘と社会実装、連携の促進を図るイベントを開催しました。

## 橋梁模型製作コンテスト

10/25 [水] 10:30-12:30 会場製作部門 製作/学生部門 展示

10/26 [木] 10:00-12:00 会場製作部門・学生部門 載荷試験



## 土木実験・プレゼン大会

～どうして?なぜ?が一目でわかる～(土木学会関西支部)  
10/25 [水] 14:00-16:00

土木がつくる施設や工事について、一般の方々に、わかりやすく、親しんで興味を高めてもらえるように、平易な実験(気象情報検索、建物の耐震、石垣の強度)を取り揃え、プレゼン大会を行いました。



## 学生のためのキャリア支援

～相談にのります、将来への道づくり～(土木学会関西支部)  
10/26 [木] 13:00-15:00

土木関連業界を代表する産・官の業種(国・地方自治体、高速道路、鉄道、総合建設業、建設コンサルタント、橋梁メーカー、PCメーカー、公益事業・ライフライン)から、実際に働いている方々に来ていただき、学生のみならず今後のキャリアパスを考えるための参考にしていただきました。



## 出展者プレゼンテーション

10/25 [水] 10:30-16:00

10/26 [木] 10:30-15:30

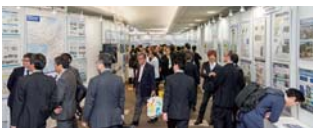
出展者による新技術・新工法のプレゼンテーションを実施、2日間で17の出展者が30分刻みで、それぞれの技術のPRを行いました。



## 技術・事業紹介等パネル展示

10/25 [水] 9:00-17:00

10/26 [木] 9:00-16:30



### 来場者数

10/25 [水]  
10/26 [木]  
延べ **15,187**人

### 技術出展

技術分野	出展者数	ブース数
防災	27	28
環境	5	5
コスト削減	5	5
安全・安心	25	33
施工	24	30
維持・更新	44	56
IT・ICT	18	21
団体	11	15
学校	14	14
<b>合計</b>	<b>173</b>	<b>207</b>

9分野に  
約500技術  
が集結